

# 読書の家から



## 新刊案内

### ■あぶた読書の家

へー 一般▽マザーズ（金原ひとみ）▽密売人（佐々木譲）▽はやぶさ新八御用旅（平岩弓枝）▽家族の分け前（森浩美）▽マスカレード・ホテル（東野圭吾）▽石狩川（本庄陸男）▽風景（瀬戸内寂聴）▽淡雪記（馳星周）▽六月の輝き（乾ルカ）

へー 一般▽マスカレードホテル（東野圭吾）▽おまえさん（宮部みゆき）▽警察の条件（佐々木譲）▽シヨックドクトリン（ナオミ・クライン）▽愛憎（佐伯泰英）▽橋の上（佐伯泰英）▽百年の呪い（佐伯泰英）▽内部被爆の真実（児玉龍彦）▽法然の「ゆるし」（梅原猛）▽野崎洋光の美しい節電レシビ（野崎洋光）

●開館時間  
午前10時より午後4時20分まで  
●12月休館日  
15日・22日・23日・29日・1月6日  
（毎週木曜日・祝祭日休館）  
あぶた読書の家 ☎76・2100  
みずうみ読書の家 ☎75・4702

●文明（町田洋）▽霧島神宮（窪田仲市朗）▽多雨林と火山（見玉茂）▽秋山郷の地学案内（島津光夫）▽鬼押出し溶岩流のナゾ（酒井康弘）▽日本列島の地形学（太田陽子ほか）▽文明崩壊（シヤレド・ダイヤモンド）▽十和田湖が語る古代北奥の謎（義江彰夫）▽浅間山大噴火（渡辺尚志）

### 今月の1冊



●おばあさんの  
メリークリスマス  
もりやまみやこ(著)  
つちだよしはる(絵)



クリスマス・温かいプレゼントに、ぴったりのえほんです。



●きつねいろの  
くつした  
こわせたまみ(著)  
いもとようこ(絵)

きつねのこなたが、人間の子とおなじように、クリスマスのプレゼントがほしくて自分がくつしたに化けて待っていると誰かがやってきました。さて、さて、プレゼントはいいんでしょう？

## わたしのうた

### 短歌

【あぶた短歌会】

十一月定例会



朝ごとに窓に見る山黄に枯れて

雪振る前の寂寞秘むる

かへらざる想いは風のごとく過ぎ

いちようもみぢの乾ける風おと

秋深み銀杏並木は葉を落し

黄金敷きつめ夕映の道

ほつほつと闇に見ゆる遠き灯は

漁り小舟の点すあかりか

喧噪の世を逃れるごとみぢ葉は

ゆるり流がるる露天湯の中

床中で大きな伸びを繰り返し

なかなか起きられぬ晩秋の朝

### 俳句

【あぶた俳句会】

十一月定例会

上野行き氷雨けちらし 駒通過

氷雨降る季の 齒車また進む

毛糸玉転げ沈黙くずれけり

雪にのり原発氷雨ままならぬ

綿虫や儂き命湧くに湧く

旗振りの氷雨に打たるヘルメット

赤塚 瑛子

大西 芳子

北島 加代

山木 孝

太田 智

元田 フジ子

矢野 知子

三瓶 修

菅原 敏子

小笠原 勇

那須 伶子

井村 育子